

平成28年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書
及び附属明細書並びに財産目録の承認について

事業報告

I. 全体概要

平成27年度第3回理事会で承認された平成28年度事業計画に基づき、かんしょ
にがうり・いちご・かぼちゃ・らっきょう・ラナンキュラス・スイートピー・
デルフィニウム・ピーマン台木等の種苗生産・供給に取り組んだ。

種苗供給は、かんしょ・いちご・ラナンキュラス・ピーマン台木等が前年度実績比で
増加した。にがうり・かぼちゃ・デルフィニウム・スイートピー等は前年度実績比で
減少となった。

本年度の種苗供給事業の収益実績額は48,608千円となり、前年度実績に比べて
2,400千円増となった。また前年度実績比105%(当初計画比101%)となった。

本年度の事業費実績額は64,892千円で、前年度実績に比べて2,244千円増
となった。また前年度実績比104%(計画比100%)となった。修繕費は前年度に比
べて抑制・減少したが、重油価格の上昇等による燃料費の増加、原材料費・資材費等が
増加したため、本年度事業費は前年度実績に比べて増加した。

その結果、本年度の経常収益は72,164千円となり、経常費用73,130千円
を差し引いた本年度の経常増減額は△966千円となった。

II. 業務別事業実績

1. 管理運営に関する事業

1) 総会

第54回定時総会を平成28年6月22日に、第1回臨時総会を平成29年3月16
日にそれぞれ開催し、上程した議案はすべて原案どおり承認された。

[総会の開催]

| 総会 | 開催日 | 場所 | 議案事項 |
|--------------|----------------|-----------------|---|
| 第54回 定時総会 | 平成28年 6月22日 | J Aビル 503研修室 | 1. 平成27年度事業実績及び収支決算(案)について 2. 任期満了に伴う役員改選(案)について(別表-1) |
| 第1回 臨時総会 | 平成29年 3月16日 | J Aビル 503研修室 | 1. 平成29年度会費及び納入方法(案)について |

2) 理事会

理事会を開催し総会付議事項等について審議した。上程した議案はすべて原案どおり
承認された。

[理事会の開催]

| 理事会 | 開催日 | 場 所 | 議 案 事 項 |
|------------|----------------|-----------------|--|
| 第1回 理事会 | 平成28年 5月26日 | J Aビル 503研修室 | 1. 平成27年度事業実績及び収支決算(案)について 2. 任期満了に伴う役員改選(案)について(別表-1) 3. 第54回定時総会の開催(案)について |
| 第2回 理事会 | 平成28年 6月22日 | J Aビル 503研修室 | 1. 役付理事の選定(案)について(別表-2) |
| 第3回 理事会 | 平成29年 2月22日 | J Aビル 503研修室 | 1. 平成28年度収支予算の補正(案)について 2. 平成29年度事業計画及び収支予算(案)について 3. 平成29年度会費及び納入方法(案)について 4. 平成29年度借入限度額(案)について 5. 平成28年度第1回臨時総会の開催(案)について 6. 付帯決議(案) 7. 職務執行状況の報告について |

3) 企画運営委員会

企画運営委員会を理事会に先立ち開催し、理事会付議事項及び報告事項等について協議した。

[企画運営委員会の開催]

| 委員会 | 開催日 | 場 所 | 協 議 事 項 |
|----------------|----------------|---------------|---------------------|
| 第1回企画 運営委員会 | 平成28年 5月12日 | 総合農試 第2会議室 | 第1回理事会付議事項(2議案)について |
| 第2回企画 運営委員会 | 平成29年 2月8日 | 総合農試 第1会議室 | 第3回理事会付議事項(5議案)について |

4) 優良種苗生産供給担当者会議

優良種苗生産供給事業等を効果的かつ円滑に推進するため、関係機関と連携して、花き部門と野菜部門(かんしょ部門含む)等の担当者会議を開催した。

[担当者会議の開催]

| 部 門 | 開催期日 | 場 所 | 協 議 事 項 |
|------|-----------------|---------------|--|
| 花き部門 | 平成28年 6月23日 | 総合農試 第2会議室 | ・花き優良種苗生産供給状況について ・ラナンキュラスの増殖状況・今後の方向等について ・スイートピー、デルフィニウムの新品種等について |
| | 平成28年 11月16日 | 総合農試 第2会議室 | ・パイテクセンター・農試花き部の花き栽培状況について ・花き優良種苗供給実績と計画について ・ラナンキュラスの種苗生産、球根培養について |

| 部 門 | 開催期日 | 場 所 | 協 議 事 項 |
|------------------|----------------|-----------------|--|
| 野菜部門 (かんしょ含む) | 平成28年 7月12日 | 農試畑作園芸支場 会議室 | ・かんしょ優良種苗生産供給実績及び計画について ・かんしょ新系統等の選定選抜について ・食用加工かんしょの品種系統選定について |
| | | 霧島酒造生産本部 | ・焼酎用かんしょ 苗生産供給等について |
| | 平成28年 8月3日 | バイテクセンター 会議室 | ・野菜優良種苗生産供給実績及び計画について ・ピーマン台木系統等の採種供給計画について ・カラーピーマン新品種の育成状況等について |
| | | 農試畑作園芸支場 会議室 | ・かんしょ優良種苗生産供給実績及び計画について ・かんしょ品種・系統選抜試験成績及び試験設計について ・焼酎用及び食用加工かんしょの供給実績について |
| | 平成29年 1月11日 | 総合農試 第2会議室 | ・野菜優良種苗生産供給実績及び計画について ・いちご新品種「08-5-4」の苗供給計画等について ・カラーピーマン新品種育成状況と試験採種等について |
| 病害虫部門 | 平成28年 4月25日 | バイテクセンター 会議室 | ・いちご炭疽病・萎黄病検定、防除計画等について ・かんしょの葉巻病・つる割れ病の防除対策等について ・らっきょうの病害虫防除対策等について |
| | | バイテクセンター 会議室 | ・いちご炭疽病検定及び防除実績、ハダニ炭酸ガス防除計画等について ・かんしょの葉巻病・つる割れ病の防除対策等について ・らっきょうの病害虫防除対策等について |
| 運営部門 | 平成28年 5月12日 | 総合農試 第2会議室 | ・バイテクセンター優良種苗生産供給状況と今後の方向について ・バイテクセンターハウス・施設修繕計画等について ・バイテクセンター供給種苗の予約率等について |
| | | 平成29年 1月31日 | 県農産園芸課 |

5) 監 査

定例の棚卸監査及び帳簿監査が行われた。

| 監査名 | 期 日 | 備 考 |
|------|-------------|--------------|
| 棚卸監査 | 平成29年 4月 3日 | 平成28年度期末棚卸監査 |
| 帳簿監査 | 平成29年 4月20日 | 平成28年度期末帳簿監査 |

2. 種苗生産・供給事業

1) 園芸作物の優良種苗の生産及び安定供給

(1) 宮崎県が育成したオリジナル品種の種苗供給

県総合農業試験場で育成された野菜・花きの品種等について、宮崎県から許諾を受け、種子の採種生産及び供給を行った。

- ①かぼちゃは、「宮崎早生1号」等の供給を行った。近年は供給が減少しているが、本年度実績は885千円、前年度実績比94%(計画比117%)となった。
- ②にがうりは、「佐土原3号」「みやざきつやみどり」等を供給した。本年度実績は7,318千円、前年度実績比96%(計画比94%)となった。
- ③ピーマン台木は、「みやざき台木3号」「みやざき台木5号」等を供給した。本年度実績は1,782千円、前年度実績比104%(計画比115%)となった。
- ④スイートピーは、新品種「青式部」や「恋式部」「美々」等を供給した。本年度実績472千円、前年度実績比93%(計画比93%)となった。
- ⑤デルフィニウムは、近年の供給が減少しているが、本年度実績は905千円となり前年度実績比78%(計画比76%)と大幅に減収した。

(2) 栄養繁殖作物の無病苗の供給

かんしょ、いちご、らっきょう、ラナンキュラスの無病苗の生産供給を行った。

- ①かんしょは、「宮崎紅」「コガネセンガン」「べにはるか」等の苗供給を行った。本年度実績(合計)は20,031千円となり、前年度実績比105%(計画比94%)となった。
「宮崎紅」は本年度実績8,034千円、前年度実績比103%となった。
「コガネセンガン」は本年度実績10,376千円、前年度実績比104%となった。「べにはるか」は本年度実績666千円、前年度実績比129%となった。
- ②いちごは、「さがほのか」等の苗供給を行った。本年度実績4,209千円、前年度実績比145%(計画比137%)となった。
- ③らっきょうは、「らくだ」の種球を供給している。近年供給減が続いていたが、本年度実績2,747千円、前年度実績比108%(計画比113%)となった。
- ④ラナンキュラスは、県オリジナル品種「ガーネット」「ラズベリル」「ローズクオーツ」等の培養苗を供給した。本年度実績2,737千円となり、前年度実績比135%(計画比115%)となった。

(3) 優良種苗利用促進事業

優良種苗の安定生産供給技術の開発及び確立試験等を行った。

- ①いちごの無病苗増殖技術及び炭酸ガスのハダニ防除技術等の確立
 - ・いちごハダニ・アブラムシ、炭疽病、萎黄病、うどんこ病等の体系防除実施等。
 - ・炭疽病検定を4月、10月に実施、炭疽病無感染を確認。また萎黄病検定では萎黄病感染無しの検定結果となった。
 - ・炭酸ガス殺虫システムで炭酸ガス60%で24時間処理。25℃以上の温度を確保すれば、ハダニ成虫から卵まで完全に死滅する防除効果を確認した。
- ②原料用かんしょの系統選抜及びかんしょ苗の安定生産供給技術の確立
 - ・焼酎原料用「タマアカネ」新系統選抜試験を総合農試畑作支場と現地(霧島自然農園)と連携して実施した。
 - ・食用加工用の需要がある「宮崎紅」、焼酎原料用「コガネガン」「ムササギ」等の苗の安定供給の実用技術を確認して供給実績をとりまとめた。
- ③らっきょう「らくだ」のウイルスフリー種球と現地自種の比較試験等
 - ・ウイルスフリー種球と生産者自種の比較栽培を行った。ウイルスフリー種球は葉長短く、葉数・分けつ数多く、分球数も多い結果となった。
 - ・27年度バイテクセンターから出荷種球の葉色黄化追跡試験では、3月に入り生産者自家種の葉色がやや濃い傾向を認めた。
- ④スイートピー「紅式部」の採種技術の確立
 - ・10月3日定植「紅式部」は、12月中の開花のものは着莢しなかった。1月中旬以降の開花受粉で着莢、結実が認められ、3月下旬から採種が可能となった。
 - ・結実が容易な「紅式部」の個体選抜を実施中。
- ⑤ラナンキュラスウイルスフリー球根の安定生産技術の確立
 - ・球根養成の隔離ベッド栽培試験。平成27年11月に定植・平成28年5月に掘り上げ。定植本数の約98%が生育、球根掘り上げできたが、増殖倍率が低く乾燥球根重軽く小球根。平成28年12月に定植、引き続き試験を継続中。
 - ・かぎ芽増殖苗生産技術の確立。かぎ芽育苗容器6cmと7.5cmポリポット、苗質・成苗率差認めず。かぎ芽苗から本圃定植用球根生産の可能性、培養セル苗比較差判断できず、継続調査を実施。試験生産のかぎ芽ポット苗を現地生産者圃場に定植、生育は順調で培養セル苗に比べ開花も早く、生産者の評価も良かった。

⑥ダリアウイルスフリー苗の安定生産技術の確立

- ・茎頂置床後4日目で半数の芽で雑菌汚染、60日後に抗菌剤入り培地に継代培養、汚染軽微な個体は生長し分割増殖が可能となり、増殖倍率は7.4倍であった。増殖用培養元親を3か月ごとに分割移植した場合、1年間で苗を2,400倍の増殖が可能となる。

⑦優良系統・品種の保存管理

野菜2品目4品種、いも類1品目9品種、花き4品目25品種の優良親株の保存管理を行った。

[優良親株の保存]

| 作目 | 品目 | 品種 | 導入先 | 導入年 | 保存形態 | | |
|-------------|---------------|-----------|---------|-------------|-------|-------|-------|
| 野菜 | いちご | とよのか | 宮崎市 | 平成5年 | フラスコ苗 | | |
| | | こいはるか | 県総合農試 | 平成28年 | 鉢苗 | | |
| | | みやざきなつはるか | 県総合農試 | 平成25年 | フラスコ苗 | | |
| | らっきょう | らくだ | 県総合農試 | 平成2年 | フラスコ苗 | | |
| | | らくだ | 都城市 | 平成5年 | フラスコ苗 | | |
| いも類 | かんしょ | 宮崎紅 | 串間市 | 平成7年 | フラスコ苗 | | |
| | | 宮崎紅A-3 | 県総合農試 | 平成18年 | フラスコ苗 | | |
| | | 宮崎紅0-61 | 県総合農試 | 平成24年 | フラスコ苗 | | |
| | | ことぶき | 宮崎市 | 平成8年 | フラスコ苗 | | |
| | | べにはるか | 県総合農試 | 平成24年 | フラスコ苗 | | |
| | | コガネセンガン | 県総合農試 | 平成24年 | フラスコ苗 | | |
| | | アヤムラサキ | 県総合農試 | 平成24年 | フラスコ苗 | | |
| | | ジョイホホワイト | 県総合農試 | 平成24年 | フラスコ苗 | | |
| | | ムラサキマサリ | 県総合農試 | 平成25年 | フラスコ苗 | | |
| | | コガネマサリ | 県総合農試 | 平成26年 | フラスコ苗 | | |
| | | タマアカネ | 県総合農試 | 平成27年 | フラスコ苗 | | |
| | | 花き | きく | 神馬66-4 | 県総合農試 | 平成21年 | 選抜親株 |
| | | | デルフィニウム | GN89(シリウス親) | 県総合農試 | 平成18年 | フラスコ苗 |
| LP93 | 県総合農試 | | | 平成20年 | フラスコ苗 | | |
| ランキユラス | ガーネット | | 県総合農試 | 平成18年 | フラスコ苗 | | |
| | ラズベリル | | 県総合農試 | 平成19年 | フラスコ苗 | | |
| | ローズクオーツ | | 県総合農試 | 平成21年 | フラスコ苗 | | |
| | ランキユラス3品種 | | 県総合農試 | 平成22年 | フラスコ苗 | | |
| | 民間育成5品種 | | 綾町 | 平成27年 | フラスコ苗 | | |
| | 民間育成6品種 | | 綾町 | 平成28年 | フラスコ苗 | | |
| | ランキユラス・マリーピンク | | 県総合農試 | 平成28年 | フラスコ苗 | | |
| | ランキユラス・レット | | 県総合農試 | 平成29年 | フラスコ苗 | | |
| スプレーカーネーション | ローロ | | 綾町 | 平成19年 | 親株 | | |
| | ローレット | | 県総合農試 | 平成19年 | 親株 | | |
| | ローロピンク | | 県総合農試 | 平成19年 | 親株 | | |

2) 野菜苗の受託育苗

8月～10月に野菜苗（ピーマン、ナス、キュウリ）育苗をジェイエイ・アグリシード(株)から受託して行ない、ハウス施設の有効活用等を図った。野菜苗育苗の受託収入は、本年度実績が7,133千円となり、前年度実績比101%となった。

| 品 目 | 数 量 |
|--------------|----------|
| なす苗(佐土原ナス含む) | 21,530本 |
| きゅうり苗 | 60,976本 |
| ピーマン苗 | 58,328本 |
| 合計 | 140,834本 |

(別表－1)

任期満了に伴う役員改選

1. 理事

| 現 職 | | 備 考 | 改 選 | |
|-----------------------------|-----------------|-------|-----------------------------|-----------------|
| (平成26年6月定時総会～平成28年6月定時総会まで) | | | (平成28年6月定時総会～平成30年6月定時総会まで) | |
| 氏 名 | 勤務先役職名 | | 氏 名 | 勤務先役職名 |
| 新森 雄吾 | 経済連代表理事会長 | 会長理事 | 新森 雄吾 | 経済連代表理事会長 |
| 郡司 行敏 | 県農政水産部長 | 副会長理事 | 郡司 行敏 | 県農政水産部長 |
| 吉岡 秀樹 | バイテクセンター所長 | 常務理事 | 吉岡 秀樹 | バイテクセンター所長 |
| 山内 年 | 前県総合農業試験場長 | | 加勇田 誠 | 県総合農業試験場長 |
| 大河内 敏雄 | 西都市農政課長 | | 大河内 敏雄 | 西都市農政課長 |
| 佐藤 祥三 | 前高千穂町農林振興課長 | | 興柁 晶彦 | 高千穂町農林振興課長 |
| 藤原 榮伸 | J A 宮崎中央代表理事組合長 | | 藤原 榮伸 | J A 宮崎中央代表理事組合長 |

2. 監事

| 現 職 | | 備 考 | 改 選 | |
|-----------------------------|-------------|-----|-----------------------------|-------------|
| (平成26年6月定時総会～平成28年6月定時総会まで) | | | (平成28年6月定時総会～平成30年6月定時総会まで) | |
| 氏 名 | 勤務先役職名 | | 氏 名 | 勤務先役職名 |
| 森岡 幸一郎 | JA宮崎中央会常勤監事 | | 森岡 幸一郎 | JA宮崎中央会常勤監事 |
| 岡山 秀昭 | 宮崎市農政部長 | | 岡山 秀昭 | 宮崎市農政部長 |

(別表－2)

役付理事の選定

| 役 職 | 理 事 | |
|-------|-----------------------------|------------|
| | (平成28年6月定時総会～平成30年6月定時総会まで) | |
| | 氏 名 | 勤務先役職名 |
| 会長理事 | 新 森 雄 吾 | 経済連代表理事会長 |
| 副会長理事 | 郡 司 行 敏 | 県農政水産部長 |
| 常務理事 | 吉 岡 秀 樹 | バイテクセンター所長 |